

I-8 カネゼイ周辺 Canazei

エリア概要

場所は前記したコルチナと同様、ドロミテアルプスの真っ只中、距離で言えばコルチナと60キロほどであるが、峠越えの1時間半の距離であり、またトボなどの別のエリアとして紹介しているので、ここでも分けて紹介したい。

カネゼイはドロミテの南西、マルモラーダやサツカレンゴの登山のベースとなる町である。コンペで有名なアルコからも2時間程度の距離である。

エリアは20箇所以上あり、ボルダーのエリアも開拓されている。もちろんマルチピッチのエリアもたくさんある。

このスポーツクライミングのエリアの特徴は、被った壁にチッピングでルートが拓かれていることだ。高難度もかなりあるが、おそらくほとんどチッピングのルートと思われる。

逆に傾斜のない、古くからあるエリアでは、もちろんチッピングはされておらず、エリアによってチッピングしているところとしていないところがはっきり分かれている感じであった。

従って、ある程度の高難度を登ろうと思うと、チッピングルートは避けられない。これを楽しめるか否かは個人の趣向なので何とも言いえないが、私は1日で嫌になってしまった。

シーズン

標高が高いため夏が中心。エリアは標高2000mくらいにあり、夏でも日が当たっていても登れる。

岩質

ドロミテ石灰岩

エリア詳細

Plan Schiavaneis

この地域の中心的なエリア。アプローチが近く、雨でも晴天でも登れる上、低グレートから高グレートまで万遍なく揃っている。ボルトも近めに設置されている。そのため講習会やトレーニングに来るクライマーで、まるでジムのように混んでいる。ルートは易しいものから14aまで60本強。ただし7a以上はほとんどチッピングで作られている。(と思われる)真ん中にある超人気ルートのLambadaは途中から全てのホールトが掘られている。私は土曜に行ったので、人々はまるでジムで登るに取って代わり、半日だけピレイを頼んでくるものや、リードで登ったあとのロープをトップロープでやらしてくれ、と頼んでくるものが出て、このあたりもジムっぽい雰囲気であった。

ただ環境は素晴らしく、大岩壁と草原に囲まれた絶景と、取り付きはベンチや休める芝生が広がっており、平日に行けばのんびりとクライミングを楽しめるかもしれない。

あとグレートの辛さも天下一品で、新しいトボではさらに1ランク、グレートが辛くなっているものもあり、少しやりすぎか、と1感も否めない。

これ以外にも多くのエリアがあるが訪れていないので詳細は不明。

アプローチ

Plan Schiavaneis

カナゼイから242号線を北上。5キロほどで左にPasso di Sella (セツラ峠)方面に行く分岐があるので、これに入る。さらに3キロほど進むと右手にPlan Schiavaneis とレストランが出てくる。(このスリッパテイはうまい)この先200mくらい、右手に大きな岩がある辺りに車を止め、右に入る林道を歩く。正面に見えるのがエリアだ。林道から左手の広い潤れ沢をつめていくと、やがて岩場に突き当たる。徒歩10分弱。なお大雨の後はこの潤れ沢が濁流となれなくなる。その場合は最初から沢の右岸を歩いていけば、道路から岩場に行くこともできる。

ショッピング

カナゼイの町で何でも揃う。町のインフォメーションの左手にある山の店にはクライミングギアやトボも豊富に揃っている。Sport Amplatz 0462-601605

宿泊

カナゼイを始め周辺の村は、ほとんど宿泊施設などの観光客相手で生活しているので、全く困らない。

トボ

2004年に新しいトボが発売されている。英語も入っているので読みやすい。

またこの周辺から西の地域を含めたSportklettern in Sudtiroi というトボもある。このトボは英語表記はないが、図がしっかりしていて非常にわかりやすい。イタリア北部の70箇所のエリアが紹介されている。